

地域実践研究における研究課題について

地域実践研究では、平成 28 年度から平成 32 年度までの 5 年間を通じて、インクルーシブ教育システム構築のための包括的な研究課題（メインテーマ）を 2 課題設定しました。各メインテーマの下には具体的な研究課題（サブテーマ）を設定しております。地域実践研究事業に参画していただく都道府県・指定都市教育委員会には、サブテーマから 1 つを選択し申請していただきます。

以下に各研究の【想定される研究内容】に例示しましたが、実際に取り組む研究内容は都道府県・指定都市教育委員会と相談しながら決定します。

メインテーマ 1 :

インクルーシブ教育システム構築に向けた体制整備に関する研究

サブテーマ

1-1 地域におけるインクルーシブ教育システム構築に関する研究

【想定される研究内容】

- ・ 都道府県または市町村における関係諸機関との連携の在り方
- ・ 市町村の体制づくりに対する都道府県の支援方策
- ・ 学校間連携等地域内の教育資源の効果的な組み合わせの在り方
- ・ 校種間の円滑な接続や多様な学びの場の活用
- ・ 相談支援ファイル等の作成・活用の在り方

1-2 教育相談、就学先決定に関する研究

【想定される研究内容】

- ・ 就学に関する教育相談の在り方（早期からの十分な情報提供、合意形成等）
- ・ 個別の教育支援計画の作成・活用
- ・ 就学先決定後の柔軟な見直しの在り方

1-3 インクルーシブ教育システム構築に向けた研修に関する研究

【想定される研究内容】

- ・ 管理職、特別支援コーディネーター、通常の学級の担任、特別支援学級の担任、通級指導教室の担当者、養護教諭等に対する研修プログラムの開発と活用及びその評価（教科等の指導方法、教員間の協働、保護者との協働等を含む）

1-4 インクルーシブ教育システムの理解啓発に関する研究

【想定される研究内容】

- ・ 通常の学級の子どもに対する障害理解（障害のある子どもの理解、障害のある子どもへの教育の理解）
- ・ 保護者や地域住民への理解啓発

メインテーマ2：

インクルーシブ教育システム構築に向けた特別支援教育に関する実際的研究

サブテーマ

2－1 多様な教育的ニーズに対応できる学校作りや指導改善に関する研究

【想定される研究内容】

- ・子どもの多様な教育的ニーズへの対応を可能にするための校内の諸課題改善方策（校長のリーダーシップ、校内委員会の充実、特別支援学校のセンター的の機能の活用等）
- ・校内における研修や研究の在り方及びその効果
- ・通常の学級を含めた授業や学級経営の改善方策

2－2 学校における合理的配慮及び基礎的環境整備に関する研究

【想定される研究内容】

- ・学校において合理的配慮を提供するプロセス（本人・保護者との合意形成、個別の教育支援計画への記載、個別の指導計画への活用等）
- ・学校における基礎的環境整備の在り方
- ・合理的配慮の効果や合理的配慮の見直し
（通常の学級、特別支援学級、特別支援学校等、多様な学びの場における研究が考えられる）

2－3 交流及び共同学習の推進に関する研究

【想定される研究内容】

- ・交流及び共同学習推進のための教育委員会等における取組
- ・居住地校交流の推進や副次的な学籍の活用
- ・交流及び共同学習を計画的、組織的に行うための工夫
- ・子どもの教育的ニーズを踏まえた交流及び共同学習の在り方
- ・交流及び共同学習の評価の在り方
- ・通常の学級における交流及び共同学習の推進

2－4 教材教具の活用と評価に関する研究

【想定される研究内容】

- ・特別な支援が必要な子どもが十分な教育を受けるために、その特性や状態に応じて使用する教材や教具（ＩＣＴに限らず、例えば紙や具体物を活用した教材や教具も含む）の開発と活用及びその評価の在り方